

# はちのへ 市議会だより

令和5年6月定例会

No. 126

2023年(令和5年)7月20日発行

## 三陸復興国立公園指定10周年 種差海岸



種差海岸は、三陸復興国立公園に指定されてから、令和5年5月24日で10周年を迎えました。

四季折々に変化する種差海岸の美しい自然は、市民のみならず多くの来訪者に潤いと安らぎをもたらしています。

### 主な内容

- 市議会のしくみ…………… P 2
- 令和4年度政務活動費収支報告…………… P 3
- 議案審議結果、人事案件…………… P 4
- 一般質問、議員表彰…………… P 5～8

### 令和5年度八戸市一般会計補正予算などを可決

令和5年6月定例会を6月12日から6月26日までの15日間の会期で開き、令和5年度一般会計補正予算など、議案20件を可決しました。

### 令和5年度八戸市一般会計6月補正予算

一般会計補正予算額 8億9,424万1千円

(補正後の予算総額 972億6,324万1千円)

#### 主なもの

- 電力・ガス・食料品等価格高騰対策事業費… 4億5,010万円
- 青森県ひとり親世帯等臨時特別給付金事業費… 3億 210万円
- キャッシュレス決済導入事業費… 3,238万2千円
- 医療・福祉職子育て世帯移住支援金事業費… 1,400万円

市議会の詳しい情報は、ホームページでご覧になれます。

八戸市議会

検索



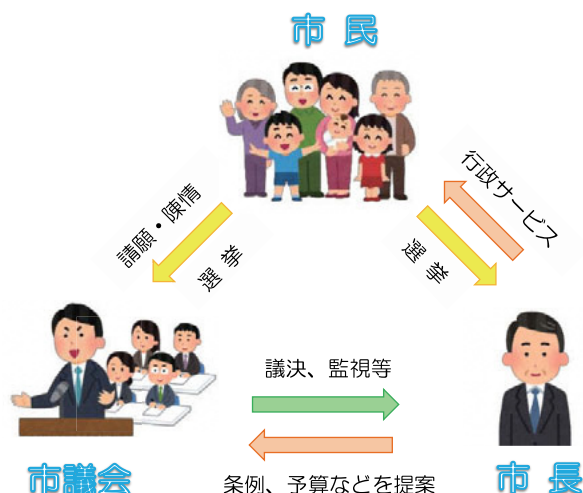
# 市議会のしくみ

## 議会と市長

市議会は、私たちの住む八戸をよりよいまちにするため、「まちづくり」や「教育」、「福祉」などの重要な市政課題を、市民を代表して議論し、市民の意見や要望を市政に反映する役割を果たしています。

市長は、市議会が決定したことに従い、市民のための仕事を具体的に進めます。

このような働きから、議会を「議決機関」、市長を「執行機関」といい、両者は対等な立場に立って考えを出し合い、相談しながら行政を進めることになっています。



## 議会の構成

### ○議員

市議会は、市民の選挙で選ばれた議員によって構成され、現在の議員数は28人です。

議員の任期は、4年と定められており、現在の議員の任期は令和5年5月2日から令和9年5月1日までです。



### ○議長と副議長

議長と副議長は、議員の中から選挙で選ばれます。

**議長**は、議場の秩序を維持し、議事を整理して会議を円滑に進めたり、議会の事務を処理したりします。また、議会の代表として、いろいろな会議に出席したり、他の機関と協議したりします。

**副議長**は、議長が欠けたときや、病気や出張などで不在のときに、議長の代わりを務めます。

## 議会の運営

市議会には、年4回定期的に開く**定例会**（2月または3月、6月、9月、12月）と、必要に応じて開く**臨時会**があります。その期間中に本会議や委員会を開いて、議案や請願・陳情の審査などを行います。

本会議は、議員全員で構成され、議会の最終的な意思を決定する会議です。提案された議案の審議や、市政全般についての質問や意見を述べます。

ただし、提出された議案などは複雑多岐にわたるため、本会議で採決する前に、いくつかの委員会に分かれて、専門的に審査されます。委員会には、常設の議会運営委員会および常任委員会と、必要に応じて設置する特別委員会があります。

## 会議の傍聴にお越しく下さい

本会議は一般に公開され、どなたでも自由に傍聴できます。

身体の不自由な方は傍聴席まで事務局職員が補助対応しますので、議会事務局までお知らせください。

なお、車いすを使用されている方は、別室でテレビでの視聴をお願いしております。

また、議会運営委員会、常任・特別委員会、常任委員会協議会および議員全員協議会の傍聴につきましては、委員長などの許可が必要となります。



# 令和4年度政務活動費収支報告

## 政務活動費とは

地方自治法や条例の規定に基づき、市政に関する調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として交付されるものです。

◇交付対象：会派（会派に所属しない議員には、会派に対して交付する政務活動費の例により交付）

◇交付額：月額8万円×所属議員数×12カ月

※前年度に交付された政務活動費について、その用途を収支報告書にまとめ、領収書などを添えて議長に提出するよう定められています。また、年度末において、交付された政務活動費に残余がある場合は、市に返還することとなっています。

## 主な使途と金額

（単位：円）

項目		会派 自由民主・ 市民クラブ 15人	きずな クラブ 7人	新緑・ 無所属の会 3人	公明党 3人	日本共産党 議員団 3人	無所属 1人	合計 32人	（参考） 主な経費
収入	交付額	14,400,000	6,720,000	2,880,000	2,880,000	2,880,000	960,000	30,720,000	
支出	調査研究費	2,452,540	1,446,339	48,659	384,031	95,309	332,181	4,759,059	交通費、旅費
	研修費	1,101,626	260,880	0	196,520	0	0	1,559,026	旅費、参加費
	広報費	1,779,985	786,698	510,215	1,317,932	2,185,608	391,403	6,971,841	広報紙印刷費、 通信運搬費
	広聴費	0	0	0	0	168,960	0	168,960	資料印刷費
	資料作成費	65,972	0	0	0	0	0	65,972	印刷製本費
	資料購入費	3,347,441	960,507	891,378	377,850	179,460	146,400	5,903,036	図書・資料代
	事務所費	0	300,000	360,000	0	0	0	660,000	賃借料
	事務費	653,353	1,265,651	314,463	291,785	251,164	66,700	2,843,116	事務用品費、 通信運搬費
	合計	9,400,917	5,020,075	2,124,715	2,568,118	2,880,501	936,684	22,931,010	
	返還額	4,999,083	1,699,925	755,285	311,882	0	23,316	7,789,491	

## 収支報告書の閲覧

提出された収支報告書および添付書類は、5年間閲覧できます。  
詳細は、下記までお問い合わせください。※どなたでも閲覧できます。

ホームページでも  
公開しています。



- 閲覧受付場所 八戸市議会事務局 議会総務課（市庁本館3階） TEL 0178-43-2145
- 閲覧時間 午前8時15分～午後5時（土曜日、日曜日、祝日、年末年始を除きます。）



# 一般質問

## 物価高騰対策は



自民クラブ代表

立花 敬之

【問い】 市民生活や地域経済への影響が懸念されるが、今後の物価高騰対策について、所見を伺いたい。

【答え】 市では、国の「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」を活用し、低所得世帯へ支援をするため、準備を進めている。

さらに、新たに生活者支援として、八戸市次世代エール商品券発行事業におけるプレミアム商品券の購入対象年齢の拡充や、子ども食堂運営団体などへの物価高騰分に対する支援金給付などを、事業者については、優先して支援すべき業種を整理し、当市の実状に合わせた支援を考慮しており、支援策に取り組むための補正予算案を、本定例会に提案した。

今後、県との連携も視野に入れ、物価高騰の影響を受ける市民・事業者の支援に取り組んでいく。

### 【その他の質問】

◆教育行政について

など

## 新青森県知事との今後の連携は



きずなクラブ代表

田名部 裕美

【問い】 市長としてどのような政治スタンスで新知事と連携していくのか、所見を伺いたい。

【答え】 本県には、少子高齢化・過疎化による人口減少問題や、子育て支援の充実などの課題が数多くあるほか、県内市町村の地域固有の課題があるが、宮下新知事が掲げる「青森新時代」を創るための11の柱は、これらの課題に対応し、青森県の発展、県民福祉の向上に向けて、大変重要なものであると認識している。

新知事に対しては、さらなる県民福祉の向上と県土の均衡ある発展に向けて、各種施策の積極的な推進を期待するとともに、県と市が相互理解し合い、共に未来を築く取り組みを進めていけるよう、新知事をはじめ県当局との対話を重ね、市勢発展のため連携・協力を図っていく。

### 【その他の質問】

◆道路行政について

など



## 中心市街地における高等教育機関の教育環境の形成を



自由民主・無所属クラブ代表  
森園 秀一

【問い】 中心市街地における高等教育機関の教育環境の形成について、所見を伺いたい。



【答え】 少子化の進展などにより、当市も含めた地方の大学で、学生の確保に苦慮している中、国の教育未来創造会議での提言において、高度専門人材の育成など、産学官が目指すべき絵姿が示されている。

これらを踏まえ、高等教育機関を中心市街地に誘導することは、都市の新陳代謝につながる効果に加え、社会課題の解決を図る人材育成にもつながるものと考えます。

高等教育機関固有の課題については、まず学校が取り組むべきものだが、課題解決に向け、市として協力できることは果たしていきたいと考えている。

### 【その他の質問】

◆水産行政について

など

## 外国人労働者との共生社会に向けた取り組みは



公明党代表  
中村 益則

【問い】 外国人労働者から魅力ある産業都市として選ばれるために、雇用事業者と連携したコミュニケーションの充実などが必要と考えるが、現状と今後の取り組みを伺いたい。

【答え】 市では、八戸市勤労福祉サービスセンターを設置し、外国人労働者を含めた従業員同士のコミュニケーションの活性化を図る場としての活用を案内している。

国では、技能実習制度の目的と実態を踏まえた制度の在り方などを論点とした有識者会議を設置したことから、市としては、当会議の内容を含め、国の動向を注視している。

こうした状況を踏まえ、関係諸団体との連携を図り、現行の支援制度や交流事業の内容を充実させていく。

### 【その他の質問】

◆環境行政について

◆教育行政について



\*1 教育未来創造会議 … 高等教育をはじめとする教育の在り方について、国としての方向性の明確化を図るとともに、誰もが生涯にわたって学び続け学び直しができるよう、教育と社会との接続の多様化・柔軟化を推進する目的として、令和3年12月に閣議決定の上設けられた会議。

## 窓口業務のDX推進を



新緑・無所属の会代表  
伊藤 圓子

【問い】 当市における窓口業務のDX推進について、所見を伺いたい。

【答え】 当市では、本年2月に八戸市デジタル推進計画を策定し、すみよいデジタル、はたらくデジタル、うみだすデジタルの3つの基本目標を定め、その達成に向けて取り組みを推進している。

現在、同計画において、窓口業務のDX推進は位置付けていないが、市民の利便性向上につながるものであることから、同計画の基本目標1「すみよいデジタル」に整合する取り組みであると考えている。

今後は、先進事例の調査・研究を進めながら、導入経費やランニングコスト、財源の活用、人員配置などを総合的に考慮し、課題を整理した上で、具体的に検討を進めていく。

## 【その他の質問】

◆少子化対策について

◆読書推進について

など

## 動物愛護管理施設の整備を



自由民主・無所属クラブ  
山之内 悠

【問い】 動物愛護管理施設の整備の今後の見通しについて伺いたい。

【答え】 当市の動物愛護管理業務は、三戸地方保健所の抑留施設を共同利用しているほか、一部業務については県などに委託しており、当市独自の施設を有していない。

当市が利用している抑留施設については、老朽化に伴い、現在、県において改修が検討されていると伺っている。今後の施設の共同利用の方向性のほか、収容頭数の減少を踏まえた施設の規模、譲渡業務推進に必要な設備や体制なども検討する必要があることから、県の施設整備の動向を注視するとともに、他都市の状況を参考としながら、必要な施設の内容を検討していく。

## 【その他の質問】

◆選挙について

など

## 自衛隊への個人情報提供の対応は



無所属  
苦米地 あつ子

【問い】 これまでと本年度の市の対応および適齢者名簿の活用方法と情報提供の周知について伺いたい。

【答え】 市では、自衛隊青森地方協力本部から自衛官適齢者名簿の提供依頼を受けた場合に、平成14年度までは名簿を提供、15年度以降は閲覧対応、令和4年度は国からの通知を踏まえ、紙媒体にて名簿を提供している。

協力本部では名簿を基に対象者の多い地区へ募集チラシをポスティングしていると伺っている。

市では個人情報の適切な管理をお願いしており、条例上問題ないと考え、情報提供の周知は行っていない。本年度も紙媒体で名簿を提供予定で、今後も関係法令に基づき、適切に対応し募集事務に協力していく。

## 【その他の質問】

◆学校給食について

など

## 地域公共交通の今後の取り組みは



公明党  
高橋 正人

【問い】 交通空白地帯に住む住民の足の確保に向けた今後の取り組みについて考えを伺いたい。

【答え】 市では、「八戸圏域地域公共交通計画」において、地域住民からの要望を受け、地域との協働による取り組みを共に検討していくこととしている。検討の流れは、市職

員がヒアリング調査などを行い、地域の移動需要を踏まえた上で、実現方策案を提示し、関係者と協議しながら、地域で実施方法を決定していくことを想定している。

地域によって解決手段はさまざまあるため、先進事例などを紹介しながら、その地域に合った取り組みを共に考えて、解決策を導き出していきたいと考えている。

## 【その他の質問】

◆ひきこもり支援について

など

## いじめ防止条例の制定を



自由民主・無所属クラブ  
上条 幸哉

【問い】 他市に倣い、同条例を制定すべきと考えるが、所見を伺いたい。

【答え】 近年、いじめの背景が複雑・多様化する中、学校がいじめ問題について、迅速かつ的確に対応し、早期に解決を図るためには、外部の人材や関係機関と緊密に連携して対応することが求められており、子ど



\*2 窓口業務のDX（デジタルトランスフォーメーション）… 「書かないワンストップ窓口」としてデジタル庁が主導している取り組み。住民が書類の記入をしなくても住民異動届や住民票などの証明書の申請手続きが進められることから、窓口における受付時間の短縮や、複数の手続きのワンストップ化が可能となるなどの効果が期待されるもの。

もが安心して学校生活を送り、学ぶことができる環境を実現するために、市民がそれぞれの立場から相互に連携し合い、社会全体で子どもを見守る必要があると考えている。

同条例については、全国的にも制定する自治体が増えつつあることから、他都市の取り組みを参考にしながら、当市のいじめ防止基本方針を基に、制定に向けて検討していく。

【その他の質問】

◆県との連携について

女性職員の管理職登用を



自民クラブ  
岡田 英

【問い】 当市における女性職員の管理職登用に向けた今後の取り組みについて伺いたい。



【答え】 職場では性別による事務分担の偏りを解消しつつ、多様な職

務を行う機会が与えられるように努めるとともに、自治大学校で実施している実践的な講義や、市町村アカデミーにおける職場のマネジメントに係る研修などを積極的に受講させ、管理職として必要なスキルの習得と意識付けを行っていく。

さらに、時間外勤務の縮減やハラメントのない職場風土の醸成に努め、女性職員が活躍しやすい職場環境を構築することで仕事と家庭の両立を図っていく。

【その他の質問】

◆YSアリーナ八戸の利活用について

放課後児童クラブの利用料の負担軽減を



きずなクラブ  
三浦 博司

【問い】 放課後児童クラブの利用料について、現状の負担軽減策と今後無償化する考えがないか伺いたい。

【答え】 同クラブの利用料は各クラブの運営委員会で決定しており、兄弟姉妹が利用する場合、2人目以降の児童の利用料の減免を行うなど、運営に支障がない範囲で負担軽減策を実施しているクラブもある。

同クラブの充実は、6月13日に閣

議決定された「こども未来戦略方針」においても、今後の3年間で集中的に取り組む具体的な施策の一つとして位置付けられていることから、利用料の負担軽減策をはじめとしたクラブの在り方について、国の動向を注視しながら検討していく。

【その他の質問】

◆選挙について



中心街の空きビルに対する見解は



自由民主・無所属クラブ  
間 盛 仁

【問い】 中心街の建物が空きビルとなつて活用されていないことに対する市の見解について伺いたい。

【答え】 空きビルの発生は、中心街地の良質な景観や街並みに影響があることに加え、防犯性の低下などが懸念される。また、店舗の撤退や都市機能の低下に伴い目的が減

少し回遊誘因が減ることで、歩行者が減少し、さらなる店舗の減少を招くことが懸念されるなど、中心市街地活性化の視点から、好ましい状況ではないと認識している。

市としては、今後、回遊性を高めながら、「面」として魅力あるエリアにしていくためには、空きビルの解消は、対策の優先度が高い課題であると考えている。

【その他の質問】

◆防災行政について

八戸三社大祭における人材育成は



きずなクラブ  
吉田 洸龍

【問い】 八戸三社大祭の人材育成について、今後の見通しを伺いたい。

【答え】 市では、八戸三社大祭を地域資源の一つとして捉え、文化的価値や観光資源としての経済的価値に加え、コミュニティの維持などの社会的価値の面でも役割を果たすものであり、その保存、継承および活用に取り組むこととしている。

本年度は4年ぶりの通常開催となるが、コロナ後の祭りの実施における課題について、現状の把握が必要であると考えるため、関係機関とともに、人材確保のための取り組みを

継続しながら、現状の把握に努め、祭りの保存、継承および活用のための人材の確保、育成にどのような取り組みが必要か検討していく。

【その他の質問】

◆中心街の活性化について



10代の自殺企図者の現状は



自由民主・無所属クラブ  
久保 百恵

【問い】 八戸市立市民病院に救急搬送される患者の現状と退院までのサポート体制について伺いたい。

【答え】 当院における10代の自殺企図患者の推移は、令和3年度下半期で3人、令和4年度26人、令和5年度5月までで5人となっている。

当該患者に対しては、入院時に医師による自殺予防の指導を行うとともに、学校や児童相談所と連携を取りながら、本人が抱えている悩みや、社会的要因などについて、具体的な把握に努めている。

その上で、医師や公認心理士など

の多職種によるアプローチを図るなど、早期の学業および社会復帰に向けたサポート体制を整えている。

【その他の質問】

◆八戸いちごのブランド力創出について

新たなフィールドミュージアム構想に対する所見は



きずなクラブ  
石橋 充志

【問い】 八戸らしさを生かした観光地域づくりと新たなフィールドミュージアム構想について伺いたい。

【答え】 第7次八戸市総合計画の八戸らしさを生かす政策の中で、観光地域づくりの推進を掲げ、地域資源を生かした観光PRの推進や魅力発信、観光客の受け入れ体制の充実などに取り組むこととしている。

同構想により観光資源を相互に関連付け、市民の理解を深め、参加のきっかけを提供するという提案は、観光客の受け入れ体制の充実を図る上で参考になるものと考えている。

観光資源の魅力の発信や、おもてなしの心で観光客を受け入れる地域づくりは、観光振興において今後も必要であるため、関係機関と連携しながら、引き続き取り組んでいく。

HPVワクチン接種の周知方法は



公明党  
土嶺 直樹

【問い】 HPVワクチン接種対象者への周知方法について伺いたい。

【答え】 市では、昨年度は定期接種およびキャッチアップ接種の全対象者に勧奨通知を送付し、本年度は定期接種の最初の学年である小学校6年生と、最終の学年である高校1年生に相当する女子約1700人に勧奨通知を送付したところである。

また、広報はちのへなどを通じて、対象年齢や接種方法を周知しているほか、子育てアプリ「はちも」の登録者に対して、予防接種のお知らせ機能を活用し、情報を発信している。今後も市民がワクチン接種について適切に判断できるよう、国や専門機関の情報を基に、さまざまな媒体を活用して周知に努めていく。

【その他の質問】

◆教育行政について

など



\*3 自殺企図…さまざまな手段により、実際に自ら自分の生命を絶つ行為を企てること。  
\*4 フィールドミュージアム構想…地域全体を「屋根のない博物館」に見立てた観光地域づくりの考え方。  
\*5 HPVワクチン…子宮頸(けい)がんの原因となるヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を防ぐためのワクチン。  
\*6 キャッチアップ接種…HPVワクチンの接種機会を逃した方に対して、あらためて接種の機会を提供するもの。

議員表彰

全国市議会議長会より

○表彰状

市議会議員40年以上在職

坂本 美洋 議員

市議会議員25年以上在職

松橋 知前 議員

市議会議員20年以上在職

豊田 美好 議員

山名 文世 議員

○感謝状

・理事

・社会文教委員会 委員

寺地 則行 議員

◆お知らせ

○視覚障がい者や高齢者のために、朗読ボランティア団体「やまびこの会」が朗読した「はちのへ市議会だより」の音声データをホームページで公開していますので、ご利用ください。

○次期定例会は9月に開催となります。会期日程や一般質問日程(各議員の質問の要旨)は、詳細が決まり次第、ホームページに掲載します。